（様式２）

**役員・委員会委員の利益相反自己申告書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （算出期間：　　　　～　　　　）

日本小児耳鼻咽喉科学会理事長　　殿

申告者氏名

所属（機関・教室／診療科名）：

本学会での役職名：

本学会所属委員会名： 委員会委員

**A. 申告者自身の申告事項**

|  |  |
| --- | --- |
| ①企業や営利を目的とした団体の役員･顧問職の有無と報酬額（１つの企業･団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業･団体名：  役割（役員･顧問等）：  報酬額： |
| ②株の保有と、その株式から得られる利益（１つの企業の１年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5％以上保有のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業名:　　　持ち株数：  申告時の株値（１株あたり）：  最近１年間の本株式による利益： |
| ③企業や営利を目的とした団体からの特許権使用料として支払われた報酬（１つの特許権使用料が年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業･団体名：  特許名:　　　　　特許権使用料： |
| ④企業や営利を目的とした団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間･労力に対して支払われた日当（講演料など）（１つの企業･団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業･団体名：  講演料等の金額： |
| ⑤企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料（１つの企業･団体からの原稿料が年間50万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業・団体名  原稿料の金額： |
| ⑥企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（１つの企業から支払われた総額が年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業･団体名：  研究名：  研究費:  申告者が受け取る対価： |
| ⑦企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄附金（１つの企業から支払われた総額が年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業･団体名：  奨学寄附金:  申告者が受け取る対価： |
| ⑧企業や営利を目的とした団体が提供する寄附講座（企業の寄附講座に所属している場合に申告する） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業･団体名：  講座名： |
| ⑨その他の報酬（研究とは無関係な、旅行、贈答品など）（１つの企業･団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業･団体名：  報酬内容：　　　　　　　報酬額： |

**Ｂ．申告者の配偶者、１親等内の親族、または収入･財産を共有するものの申告事項**

該当者氏名（申告者との関係）：

|  |  |
| --- | --- |
| ①企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額（１つの企業･団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業･団体名：  役割（役員･顧問等）：  報酬額： |
| ②株の保有と、その株式から得られる利益（１つの企業の１年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の５％以上保有のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業名：　　　持ち株数：  申告時の株値（１株あたり）  最近１年間の本株式による利益： |
| ③企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬（１つの特許権使用料が年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）  （有の場合）企業・団体名  特許名：　　　　　　特許権使用料： |

**誓約：**私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本小児耳鼻咽喉科学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。尚、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申告日（西暦）　　　　　　年　　　　月　　　日

申告者署名